

カツオ県民会議第 15 回情報発信分科会 議事要録

2019 年 1 月 25 日 於：「司」本店

◇ 議題 1 第 4 回シンポジウムについて

- ・2 月 5 日 15 時から高新文化ホールで開催。丁野朗・東洋大学客員教授と、大和総研・河口真理子の両氏が基調講演。その後、「カツオ資源・文化の持続可能性を求めて」をテーマにパネル討論を行う。

◇ 議題 2 カツオステッカーの料金について

- ・前回の幹事会との合同会合で、1 枚 100 円で販売する方向性が示された。しかし、シンポなど催しの際に無料配布するケースとの線引きや、大口協賛企業から再度料金を受け取ることの是非、会計処理の煩雑さなどが問題提起された。
- ・出席者からは「社会的貢献活動を応援しようという企業ニーズはある」「企業側としても『無料で何百枚もほしい』とは言にくい」「有料となれば企業も無駄な配布はできない」「もし収益が出れば追加製作の費用に充当できる」「幹事会の決定事項を変更するなら、最終的には幹事会に諮るべきだろう」などの意見が出された。
- ・**意見集約＝企業側には県民会議の活動に賛同していただく主旨で、1 枚 100 円換算の協賛金をいただく。それを有料、あるいは無料で配布するかは企業側の判断に委ねる。県民会議が主催・共催する行事やイベントなどで、一般に配布する場合は無料とする。**

◇ 議題 3 その他

- ・(座長発言) 今後の県民会議の活動を考える上で、各分科会のあり方を見直すことが必要かもしれない。例えばこれまでのように、4 つの分科会がいるのかどうか。大きな視点になるが、資本主義の行き詰まりが叫ばれ、価値観の見直しが迫られている。そうした中にカツオ一本釣り漁法や食文化の考え方を組み込んでいけないかどうか。これまでの活動を踏まえた上で、そんなことを探る時期にあるように思う。

※ 出席者 (敬称略) = 宮田速雄、竹内太一、小坪俊哉、越智義久、小野川義人、木村雅男、小笠原慶二、西村啓、楠淳一、堅田正剛、奥代智